



やまな

袋井市立山名小学校
学校だより No.8
令和5年10月4日発行

10月に入り、朝夕の風にようやく秋の気配を感じる頃となりました。

心配されていた新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症拡大は、今週に入り、感染者数は減少傾向にあります。感染予防等各御家庭での御協力ありがとうございました。

さて、9月28日に代表委員会にて、運動会のスローガンについて話し合い、今年度は、「全力の炎で 心を燃やせ～輝く個性とあふれる絆～」に決定しました。2日(月)には、各組の応援団長の挨拶や説明動画を視聴し、各組、士気を高めています。また、本番に向けて、学年や学年団の練習も始まっています。練習を通して、仲間と励まし合うことや、自分や友達の頑張りや良さに気付く機会となることを願っています。

引き続き、感染予防対策を含めたお子さんの健康管理とともに、本校教育活動への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。



動画を視聴しながらの応援練習

☆10/3の会礼での校長の話☆

今日は絵本を読んでみたいと思います。長いお話なので、最初の部分だけになります。聞いてくださいね。「しらんぷり」梅田俊作/佳子 作・絵

絵本の前半、一部を読みました。内容はお子さんに聞いてください。

まだまだお話は続きますが、今日はここまでです。

さて、どうでしたか？あまり楽しいお話ではなかったですね。登場人物の「どんちゃん」がいじめられていました。

山名小の皆さんは優しい人たちばかりなので、今のお話の中で「ヤラガセ」がしていたみたいに、人の図工作品にいたずらしたり、変な踊りを踊らせて笑っていたり、ましてやけがをするような暴力を振るったりする人はいませんね。

けれども、ちょっと考えてみてください。友達の悪口を言ったり、友達のことをからかってしまったりしたことはないですか？友達が失敗したときについ笑ってしまったことはないですか？ちょっとしたけんかで、つい相手をたたいたり、蹴っ飛ばしてしまったりしたことはないでしょうか？けんかしてしまうことはあると思います。そんな時上手に仲直りできていますか？

運動会の練習が始まっていますね。運動が得意ではない人だっています。一生懸命やっているのに「へたくそだなあ」とか「足が遅いなあ」なんて言っている人はいませんか？実は、そのような気持ちがいじめにつながっていくのだと思います。

皆さんに考えてほしいことがあります。どこからが「いじめ」になってしまうのでしょうか。今の法律では、もし誰かが周りの友達から嫌なことを言われたりされたりして「辛いな、やめてほしいな」と感じたり「これはただのけんかじゃなくて、いじめだ」と言ったとしたなら、周りの大人たちが、いじめがあったものとしていろいろと調べて、そのことに関係があった人たちを指導することになっています。

では、「これはいじめだ！」となってしまうようにするためにはどうしたらいいでしょう。そのために大切なことがいくつかあると思います。

○ 自分がされて嫌なこと、言われて嫌なことは、周りの人にもしない、言わない。

まずは、自分がされたり言われたりして、辛い気持ちや嫌な気持ちになることは、周りの友達も同じ気持ちになるでしょう。だから、よく考えて絶対にしないことです。

○ 自分が少しくらい平気だと思えることでも、辛く感じたり、嫌な気持ちになったりする人もいることを考える。



「私はこれくらい言われたって平気」「僕はこれくらいされたって大丈夫」そういう人もいるでしょう。でも、みんな感じ方が同じではないですね。

一番大事なのは「思いやりの心」だと思います。「思いやり」って一言で言ってしまうと簡単ですけど、皆さんは「思いやり」ってどういうことだと思いますか？思いやりを漢字で書くと「思い遣り」となります。ちょっと難しいですけど、この「遣」の字、6年生は何かの学習の時間に見ましたね。そうです、社会の歴史で「遣隋使」とか「遣唐使」を学習したときに出てきました。「遣」の字には、「行かせる、差し向ける」、という意味や、これも難しいけれど「つかわす」といった意味もあります。つまり、「思いやり」といったら、「自分の気持ちや心を相手の気持ちや心に近づけて、相手はどう感じたり思ったりしているのかな」とよく考えてみることです。

友達の考えていることや感じていることは、心の中のことなので、その人でなければはっきりとは分からないでしょう。でも、自分の心を相手に近づけて「これを言ったら相手はどんな風を感じるかな」「これをやったら友達はどんな気持ちになるだろう」と一生懸命考えることは、誰にでもできますね。

そして、最後にもう一つ。お話の中のように誰かがつらい思いをしていたら、絶対に「しらんぷり」をしないでください。お話の中の「ぼく」のように直接「だめだよ、やめなよ。」って言えなくても、「しらんぷり」はしないで、必ず周りの大人に相談してください。

山名小の皆さん一人一人がそういった思いやりの気持ちで、毎日の生活を送っていけば、いじめが起こったり、辛い気持ちになったりする人が出なくなるのだと思います。

皆さん一人一人が優しい気持ちで毎日の生活を送っていけることを願っています。

お願い・お知らせ

【山名小を語る会・学校運営協議会】

9月21日(木)に「山名小を語る会」と「学校運営協議会」が行われました。

「山名小を語る会」には、学校運営協議会のメンバーに加え、山名小学区にお住まいの市議会議員の方にも御参加いただき、「山名小の子どもたちがよりよく学ぶために、地域としてできること」について意見交換しました。そして、その意見を受けて、「学校運営協議会」では、その具体について話し合いました。



「地域で挨拶を交わすことが大事」や、「地域に住んでいる大人の顔を知ってもらうことが必要」など、地域のコミュニケーションの必要性や防犯・防災についてなど、様々な意見を交わすことができました。

本年度、本校には、地域学校協働本部が設置され、推進員の村松貴恵さんを中心に、「やまなスタッフ」の仕組みづくりや学習・学校支援等を推進していただいています。また、たくさんの「やまなスタッフ」の方々には、登下校の見守りや家庭科のミシンボランティア、図書整備や学校環境整備等に御協力いただいています。

今後も、山名っ子のよりよい学びに向けて地域と学校が連携してけるよう、保護者・地域の皆様の御理解・御協力をお願いいたします。

【住居の変更・転出の予定】

住居の変更や転出等の予定がある場合には、早めに担任までお知らせください。

